

# コンクリート面及び押出成形セメント板面

## 7章8節：耐候性塗料塗り(DP) Vトップ

公共仕様No.  
DNT-改修・8-3-01

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JASS 18 M-201 反応形成樹脂ワニス	マイティーエポシーラー クリヤー	F☆☆☆☆	エポニックスシンナーA
2 (社内規格) <sup>※1</sup> 建築用耐候性上塗り塗料 ポリウレタン樹脂(3級)	Vトップ	F☆☆☆☆	Vトップシンナー

※1:平成25年版の公共建築工事標準仕様書に記載されている規格番号ですが、社内試験でJIS K 5658の性能試験項目には合格しています。

### 塗装仕様

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	—			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分を除去する。
2 汚れ、付着物除去	—			素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	—			特記による。
4 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
5 吸込止め	JASS 18 M-201	反応形成樹脂ワニス	2液形エポキシ樹脂ワニス	全面に塗り付ける。

- (注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。  
 2. 2液形エポキシ樹脂ワニスは、上塗り塗料製造所の指定するものとする。  
 3. 新規に塗装を行う場合は、RA種とし、工程11に代えて素地を十分に乾燥させて、工程3を省略する。  
 4. JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。  
 5. 屋内で現場塗装する場合、工程5の吸込止めに使用する材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

表7.8.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り【C-1種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	マイティーエポシーラー	クリヤー	主剤50: 硬化剤50	30~50	刷毛 ローラー	0.08	16時間以上
				30~50	スプレー		
2 中塗り <sup>※2</sup>	Vトップ	各色	主剤80: 硬化剤20	5~10	刷毛 ローラー	0.14	12時間以上
				20~50	スプレー		
3 上塗り	Vトップ	各色	主剤80: 硬化剤20	5~10	刷毛 ローラー	0.10	—
				20~50	スプレー		

※2 共通仕様書ではJASS18 M-403 2液形ポリウレタンエナメル用中塗りを使用することになっていますが、弊社では建築用ポリウレタン樹脂塗料をお薦めします。

(注) JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。

#### 7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整

コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整は表7.2.6による。  
 ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

#### 7.8.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り

コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りは、表7.8.3により、種別は特記による。

#### 注意事項

- \* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- \* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。